

奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

12月号



学校教育目標

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

「だれにとっても居心地の良い学校づくり」

児童支援専任 榮 千佳

先月は、土曜参観に多くの保護者の方のご参観をいただき、ありがとうございました。おうちの人に見守られ、はりきって活動している子どもたちの様子がたくさん見られました。

今年8月、横浜子ども会議にむけて、テーマの「だれにとっても居心地の良い学校づくりとは」という議題で6年生が話し合いを行いました。そこで、奈良の丘小学校では、「あいさついっぱいの学校」を目指して、取り組んでいくことになりました。朝は、各委員会が中心となり、昇降口であいさつ運動をしています。学校に来ると、あちらこちらから「おはようございます。」の音が聞こえてきて、とても気持ちがよくなります。あいさつをされると嬉しいのは、自分の存在を相手が認めていると感じるからです。先日は、代表委員会の投げかけで、各クラスが取り組めることを考えました。これから、ますます気持ちのいいあいさつが増えてくることを期待しています。

12月は「いじめ防止啓発月間」です。「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校の実現に向けて、「いじめは絶対にゆるされないこと」を改めて確認していく他、学校では「いじめ解決のための生活アンケート」を実施し、いじめの早期発見に取り組んでいきます。また、いじめの未然防止のために、自分自身や仲間との良好な関係づくりや、日常生活の様々な問題を自らの力で解決できるよう、社会的スキルを育てる取り組みも行っています。

いじめは許されないことだとみんな知ってはいても、簡単にはなりません。「これくらいなら大丈夫だろう」「まわりのみんなもやっているから大丈夫だろう」「笑っているから大丈夫だろう」などというほんの軽い気持ちから、いじめは始まります。でも、された方は、そんなほんの小さな「嫌だな」を、心の入れ物に少しずつためていくのです。その一言、その一つの行動が、もしかしたら相手の心の入れ物の水をあふれさす一滴になるかもしれない。あふれた水は、悲しみとなり、怒りとなり、体調を崩したり、心に大きな傷を負ったりすることになってしまいます。

だれにとっても居心地が良く、いじめを許さない心をしっかりとし身につけていくため、学校や家庭、地域みんなが協力して子どもたちを見守っていければと思っています。